

在留資格変更許可申請書の記入方法

3 枚目 申請人等作成用 3

21 扶養者

申請人（外国人）が結婚してから日本人側から扶養を受ける場合に記入します。日本人配偶者の氏名、生年月日、国籍を記入します。

外国人が日本で仕事をしていて扶養を受ける必要がない場合は**なし**と記入します。

扶養者が日本人の場合(4)、(5)、(6)、(7)は空欄で大丈夫です。

(8)申請人との関係では夫か妻にチェックを入れます。日本人配偶者が無職で扶養できない場合は、父、母など別の人をお選びください。

(9)～(11)には、扶養者の勤務先の情報を記入します。

22 在日身元保証人又は連絡先

身元保証人の情報を記入します。日本人配偶者が通常、身元保証人となります。21と同じ人が身元保証人になることが多いです。21と内容が被っても空欄にはせずに全部記入してください。

23 代理人（法定代理人による申請の場合に記入）

この欄は基本的に**空欄**です。結婚による在留資格変更許可申請では外国人に法定代理人がいるということは考えにくいからです。

最後に**外国人の自筆**で署名と署名した年月日を記入します。

※最後の取次者とは、行政書士などに依頼した場合、行政書士側が記入する欄です。